

---

# 君のいる町 ~恋愛臆病の私の場合

ちょこみるく

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

JのPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タ  
テ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。  
この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者また  
は「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒ  
ナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範  
囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致し  
ます。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

君のいる町 ～恋愛臆病の私の場合

### 【Zコード】

Z9377D

### 【作者名】

ちょこみるく

### 【あらすじ】

詩的な恋愛短編小説です。失恋をテーマにした内容になつていま  
す、

愛、元気にしてる？大学生生活にはもう慣れた？今日仕事が休みで、久しぶりに小田君のお母さんとお茶したんだけど、小田君はもう彼女がきたんだって！同じ学部の子。写真を見せてもらつたんだけど、かわいい子だつた。愛はどう？彼氏とかできた？できたらちゃんとお母さんに言こなさいよー。

そのメールが来たのは、ゴールデンウィークが始まる5日前。「小田君」という文字を見つけたとき、ドキッとした。

無意識のうちに、期待していたんだ。

お母さんからのメールに書かれていることを。

小田雄一。

中学生の時、私の家の隣に引っ越してきた。  
だから、幼馴染というわけではない。

それどころか、会話らしい会話をもうくじしたことがない。

それでも私は彼が好きだった。

見てるだけで幸せだった。

彼がいるというだけで、心地よかつた。

いつから私は彼のことが好きになつたんだろう?  
どうして彼のことが好きになつたんだろう？

好きなんだと意識した時から、彼は私から少し遠い存在になつた。  
内氣で恥ずかしがり屋の私は、顔を見合わせることもできなくなり、

席が近くになつても、他愛無い会話することができなくなつた。顔を合わせるのは、特別な用事がある時だけ。話すのは、事務的な内容のみ。

好きだと意識する前のよう、「一緒に話したい。何度もそう思つた。

付き合うとかそういうのを求めて居るのではなく、今よりもう一步、友達として近づきたいだけ。

でも、遠くから見て居るだけののも、嫌いではなかつた。心の落着きを保てるし、

嫌われる心配もしなくていいから。

傷つくのが怖かつた。

「告る」なんて次元の違う話。

私にはそんな思い切つたことはできない。

私は臆病だ。

そんな自分がもどかしかつた。

時はあつといつ間に過ぎ、気づいたら受験、卒業、別れ。

認めるのは恥ずかしいけど、私は待つていた。  
シンデレラのような出来事が起ころのを。  
臆病な分だけ、私は夢を見る。

家が隣だから、とか

親同士が親しいから、とか

自分勝手に理由を作り

夢が実現するのを

心のどこかで待つていた。

ずっと ずっと。

無意味だつたんだね。

涙がポトリと落ちる。

「小田君」の文字がぼやける。

自分が情けない。

すごくかっこ悪い。

私は県外の大学へ。

小田君は地元の大学へ。

大学別々でも、休暇に会えるから大丈夫。

同窓会で会う時には、

私は今よりうんと綺麗になつてて、  
おしゃれになつてて、

それで……

どうしてそんなことが思えたんだろうか。  
私つて本当馬鹿だよね……。

泣くほど彼のことが好きだつたんだ。

今になつて、「好き」という感情の深さを知る。

変わりたい。

泣きながらそう思った。

もつと強くなりたい。

自分に自信が持てるようになりたい。

そして、いつか誰かに思いを伝えられるようになりたい！

でも、今は……。

そう簡単に忘れられるわけでも  
変われるわけでもない。

だから、ゆつくつ焦らすよ……

もうすぐ、ホールデンウェイークだね。大学行く前には、帰省するって、愛は言つてたけど、どうするの？新幹線ですぐなんだから、帰つておいでよ！

「ごめんね、お母さん。

私はメールを打ちながら、心の中で謝る。

どれくらい長くかかるのか、自分でも分からない。  
だから…」や、とても不安。

とにかく今は、私は帰らない。

私は帰れない。

君のいる町へ。

(後書き)

読んでくださいありがとうございました。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9377d/>

---

君のいる町 ~恋愛臆病の私の場合

2010年10月10日13時19分発行